

---

# SA協議会

## 2013年度 名古屋スキルアップミーティング 報告

SA協議会

2013-08-12

WG; 青山、西山、大野、外山

1

---

### 報告項目

1. 概略計画(幹事会メンバーにて計画運営を実施)  
名古屋会場
2. 参加者
3. 当日の内容報告  
名古屋会場
4. アンケート結果  
アンケートの集計は別PDFファイル参照

2

## 1. スキルアップミーティング概略計画(名古屋会場)

---

開催概要(各会場の詳細は次ページ以降を参照ください)

【名古屋会場】

- 開催日時：平成25年7月29日(金) 13時20分～17時00分
- 開催内容：講演とグループ討議、パネルディスカッション
- 開催場所：三菱電機株式会社 名古屋製作所FCC(FAコミュニケーションセンタ) 4階Bホール
- 定員：30名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：4,500円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成25年7月5日(木)着

【プログラム】

受付:13:00 開始

開会:13:20

終了:17:00 頃予定

懇親会:18:00～19:50

【開催内容】

・第一部 講演

『連続する機械設備の安全について』

講師： 明治大学名誉教授 向殿政男氏 (SA協議会会長)

・第二部 パネルディスカッション、パネルディスカッション

テーマ「連続する機械設備に関する問題とその対策について」

3

## 2. 参加者結果

---

### 参加希望者

名古屋 36名(WG除く)

### 当日参加者

名古屋 31名+WG(4名) (懇親会参加者 16名)

4

### 3. 内容報告

#### 3.2 名古屋会場

【プログラム】 13:30～16:45 司会;大野氏

- 13:20～13:25 挨拶、講師の紹介
- 13:25～14:35 第一部 講演  
向殿名誉教授
- 14:35～14:45 休憩
- 14:45～15:55 第二部 グループディスカッション  
A～Eグループ
- 15:55～16:45 パネルディスカッション  
向殿先生はじめ6名のパネラー
- 16:45～16:55 講評、閉会、終了

【懇親会】

場所;名古屋駅 「魚民」

時間;18:00～19:50

5

### 3. 内容報告

(1) ご講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

「連続する機械・設備の安全について」とのテーマでいくつかのポイントでの講演があった。

- ・連続する機械・設備とは
- ・連続するとどんな問題が発生するのか?
- ・世界の流れはどうなっているのか? ～ISO11161統合生産システム～
- ・どうあるべきか? ～解決策の模索～
- ・安全設計思想 ～全てに共通する～



向殿会長ご講演

(講演資料は、SA協議会掲示板に掲示予定)



6

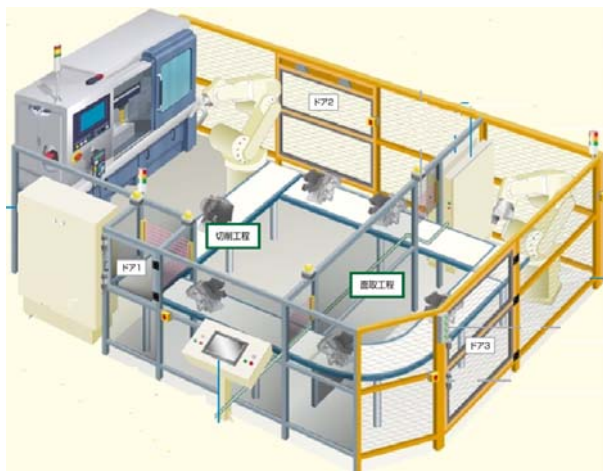
### 3. 内容報告

#### (3) グループディスカッション

5グループ(各グループ6名or7名)にて青山氏から提示していただいたFCCセンターのデモモデルの「**連続する機械設備に関する問題とその対策について**」討議した。

ディスカッションのポイントは、以下である。

1. リスクアセスメント上の課題
  2. リスク低減の問題点
  3. ユーザとメーカーとの関係性
  4. セーフティインテグレータ、セーフティアセッサに求められるスキル討議した。
- 各グループ(あらかじめお願いしたリーダーの下、活発な討議がなされた。



討議対象のデモモデル

- ・製品の加工として、2つの工程(切削工程、面取工程)があります。
- ・2つの工程間には開口部があり、製品はコンベアで次の工程(切削工程→面取工程)へ流れますが、開口部にはライトカーテンを設置し、製品を流す為、ミューティングで製品のみ次工程に流します。
- ・各工程にはメンテナンス用にドア2、ドア3がついており、それぞれの工程に入ることができます。
- ・扉はロックしており、操作盤にて各工程の運転を停止し、メンテナンスモードに変更することで解除します。

7

### 3. 内容報告

#### (4)-1 グループ討議の状況



8

### 3. 内容報告

#### (4)-2 グループ討議結果の発表



Aグループ



Bグループ



Cグループ

各グループの発表レジメは、別資料参照。



Dグループ



Eグループ

### 3. 内容報告

#### (4)-3 パネルディスカッション (青山氏がコーディネータとなりパネルディスカッションを実施した)



西山氏から連続する機械での課題のプレゼンもありました

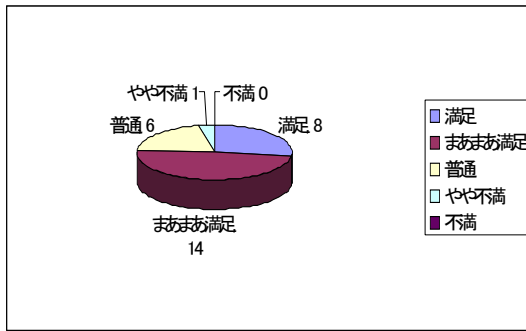


パネラーとして、以下の方が参加しました。

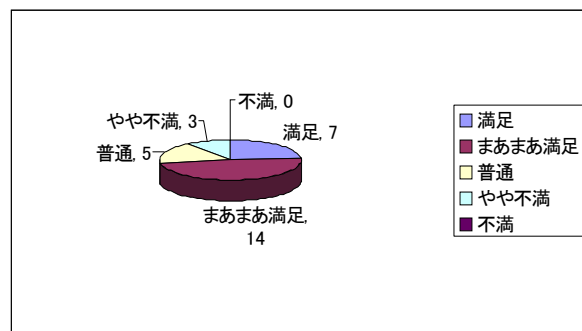
- 向殿先生、
- 西山氏、
- A～Eグループの代表者

## 4. アンケート結果

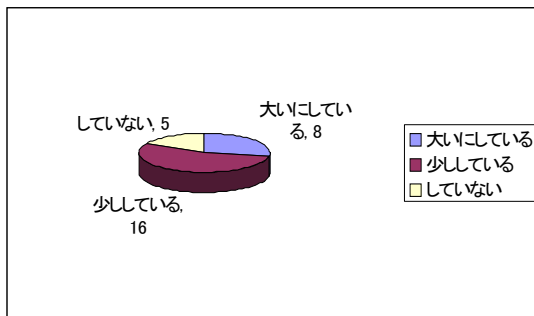
① 本日の講演についての感想は



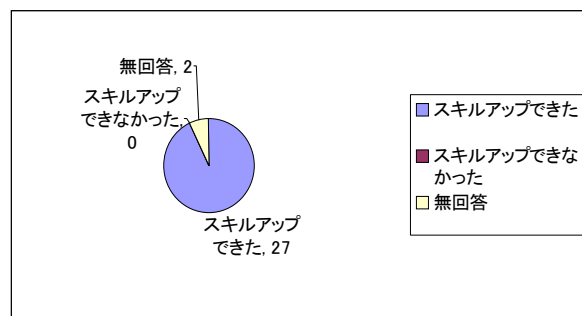
② 本日のグループ/パネル討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



11

## 5. 纏め

大変に有意義なミーティングが開催されました。

① 講演は、

- 従来体系的にあまり議論されてこなかった「連続する機械設備の安全」の概要について、国際規格ISO11161を交えて今回、向殿先生に講演頂いて非常に良かった。
- 参加された皆さんの意見としても大変大きなテーマという認識があり、今後も引き続きこのテーマを議論していきたいという声(認識)が聞かれた。
- テーマについては、アンケートにて身近な安全に関する事項についての討議の要望も多かった。

② グループ討議およびパネルディスカッションでは、

- 中部地区では地域特性を生かし、クループ編成も「製造側」、「コンポーネント」、「ユーザー」という構成で討議ができ、幅広い立場の意見交換が活発にされた。
- ビデオ等を利用しながら「連続する機械設備」について4つのポイントで議論されたが、(テーマが大きい)目的を絞るのに時間が掛かった半面、パネルディスカッションを含め全体的に討議時間が少なかった意見が(多く?)あった。…今後の課題として次回に反映。
- このテーマ(連続する機械設備の安全)の共通課題が認識できたことは、次回ミーティングでは更なるスキルアップが期待できる。
- ディスカッションの時間が短いとの意見も多く、講演とディスカッションの配分、ミーティング全体の時間を多くする等について検討課題とした。

③ 懇親会では、

- 出席者の約半数が参加されたことは、親睦会の有意義さを理解されていると判断。
- 親睦会でも安全について活発な話で盛り上がり、非常に充実した1日を締めくくることが出来た。
- 青山中部地区ワーキンググループ(WG)リーダーからWGへの積極的な参画要請のPRがあり、WGの拡大と次回ミーティングの質向上を目指すことが確認された。

④ (会員が集まって交流する)場の設定については、

- 一方の設備安全専門家が、このように集まって直接コミュニケーションとれる(議論できる)場は、「人と人とのネットワーク作り」としても有効な手段であり、今後一人でも多くの方が活用できるように企画していきたい。
- 開催の曜日の設定については、週末を希望される方も多く、次回開催は検討課題とした。

12

## 向殿先生を囲んでの交流会

---

最後に、向殿先生を囲んでの懇親会を実施しました。希望者16名。

日ごろからの安全に対する意見をフランクに交換することができました。

また、次回のスキルアップミーティングをよりよいものにしていきましょうと合意しました。

